
フロスト&サリバンの社より
「グローバル・パワーエレクトロニクス・インダストリー部門」の
カンパニー・オブ・ザ・イヤー・アワードを受賞

東芝三菱電機産業システム株式会社（以下、TMEIC）（社長：川口 章）は、大手コンサルティング会社のフロスト&サリバンの社（本社：米国カリフォルニア州）から、「グローバル・パワーエレクトロニクス・インダストリー（Global Power Electronics Industry）部門」で、カンパニー・オブ・ザ・イヤー・アワードを 2023 年 8 月に受賞しました。

フロスト&サリバンの社は、独自の調査により各業界で特に傑出した業績を挙げた企業を表彰する「ベスト・プラクティス・アワード」を毎年実施しており、カンパニー・オブ・ザ・イヤー・アワードは同賞の最高位となるものです。TMEIC は 2015 年にカンパニー・オブ・ザ・イヤー・アワードを初受賞し、今回で通算 7 回目の受賞となります。

グローバル・パワーエレクトロニクス・インダストリー部門では、部門横断組織であるエネルギー・リソース・ソリューション・プロジェクト（ERS-PJ）を中心に社内の様々な部門から多様な産業分野に対する知見を集約し、カーボンニュートラルを始めとする市場トレンドを捉え、水素製造用自励式整流器などの先進的な製品を早期に市場投入した点、および従来より注力してきた再生可能エネルギー分野では、太陽光発電向けパワーコンディショナを累計 45GW 出荷し、パワーエレクトロニクス分野のマーケットリーダーとして顧客価値の実現に貢献している点が評価されました。

執行役員 パワーエレクトロニクスシステム事業部 事業部長 飛田 正幸コメント：

「今回、パワーエレクトロニクス分野における TMEIC の取り組みが高く評価されたことを大変嬉しく思います。TMEIC は昨年度に水素製造用自励式整流器の初号機を出荷・納入する等、カーボンニュートラル社会実現に向けた新規ソリューション提供を加速しています。今後もパワエレ製品やエンジニアリング、サービスの提供、企業活動を通じた SDGs*への貢献を目指します。」

*SDGs: 持続可能な開発目標(Sustainable Development Goals)



フロスト&サリバンの社について:

フロスト&サリバンは、独自のリサーチに基づいて企業のビジネスを成長に導くグローバルな知見を提供し、ビジネスの新たな成長機会の創出からイノベーションの実現までを支援する、リサーチとコンサルティング機能の両方を兼ね備えた企業のナレッジパートナーです。新たな分野でのビジネスの成長支援に特化したフロスト&サリバンのサービスは、世界 40 拠点以上のグローバルネットワークを軸に、世界 80 カ国と 300 に及ぶ主要な全てのマーケットを網羅し、企業がグローバルなステージでビジネスを成功させるための基盤となる 360 度の視点に基づいた知見を提供します。

フロスト&サリバン社ホームページ: <https://www.frost.com/>

フロスト&サリバン ジャパン社 ホームページ: <https://www.frost.co.jp/>

報道関係からのお問い合わせ先

東芝三菱電機産業システム株式会社 経営企画本部 ブランド企画グループ <https://www.tmeic.co.jp/>

〒104-0031 東京都中央区京橋3-1-1 東京スクエアガーデン Tel: 03-3277-4319 Fax: 03-3277-4578

TMEIC(ティーマイク)は、社会を支える基盤である「ものづくり」の現場ニーズにお応えするために、社会の発展と美しい地球環境とを調和させる産業システムインテグレータとして、「産業」「社会」「環境」の未来を常に見据えています。工場・プラントにおいて原動力となっている回転機、電力を変換・制御するパワーエレクトロニクス、そしてプラント全体を計画し実現するエンジニアリング、これらの技術をコアに、ものづくりと環境マネジメントに最先端の技術で貢献していきます。